

カレード通信 Vol.103

2026年 5月号

May

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15 料理教室	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29 薬膳 Cooking 料理教室	30 市民歴史講座

＊おはなし会情報＊

会場：児童コーナー(パオ)
時間：10:30～11:00
参加無料・申込不要

赤 あかちゃんおはなし会
 ＊第1火曜日
 ＊第2火曜日
 ＊第3火曜日(隔月開催)

子 こどもおはなし会
 ＊毎週土曜日
 ＊第3日曜日
 ＊第4日曜日(隔月開催)

英 えいごのおはなし会
 ＊第2日曜日

図書館展示情報

一般展示 “300”の本集めてみた 300

今年1月31日、学びの杜ののいちカレードの来館者数が300万人に達しました。これを記念しまして、今回はタイトルや内容紹介に“300”が入っている本を集めてみました。幅広いジャンルの本が集まりましたので、思いもよらない本と出会えるかもしれません。これから皆様にも愛される施設を目指していきます！

YA展示 あ～すっきりした♪

新学期がスタートしてから1,2か月。新生活で疲れを感じたり、悩みを抱えたりしているそこのあなた！本を読んで「あ～すっきりした♪」と思えたらラッキーじゃないですか？哲学書を通して自分と向き合うもよし、痛快小説で爽快感を味わうもよし。他にもいろんな本を集めました。あなたの心が少しでも軽くなりますように…☆

児童展示 ぼうけんによう！

しらない せかいへ、いっぽ ふみだしてみない？
ふしぎな森、ひろい海、とおい国、そして ゆめの中一。
この本たちには、ドキドキする ぼうけんが つまっています。
さあ、本をひらいて、きみだけの ぼうけんへ 出発だ！

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

最新情報はコチラから！

1X(旧Twitter) 1Facebook

5月 カレードイベント情報！

カレードシネマ 『かがみの孤城』

日時/5月10日⑩
開場：13:00～受付開始
開始：13:30～16:00
ブックトーク、その後上映会

会場/研修室・会議室 定員/50名(当日先着順)
時間/116分 製作/2022年

学校での居場所をなくし、部屋にとじこもっていた“こころ”の目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先には、似た境遇の6人が集められていた。秘めた願いを叶えるため、7人は城に隠された鍵を探す。

市民歴史講座 「寺子屋で味わう富樫物語 —江戸時代に出版された書物『昔日北華録』を読む—

日時/5月30日⑩
第1部 10:30～12:00、第2部 13:30～15:00
※第1部と第2部は同じ内容です

会場/水毛生家住宅(野々市市本町3-11-14)
定員/各回10名
対象/大人
参加費/無料
申込み/カレードにご来館、またはお電話で申し込み
富樫プロジェクト発足記念のスペシャル版として、市内各地で全3回の連続講座をお届けします！

4月 イベント報告

カレードステージ Vol.3 「芝居小屋羅針盤 一の陣」開催しました

4/18⑩・19⑨に、劇団羅針盤による公演を開催しました。子ども向けとして『さんびきのこぶたと』、大人向けとして『元号パレード』の2つの演目があり、子どもから大人までたくさんの方にご参加いただき、大いに盛り上がりしました。ご来場ありがとうございました。

配本所に新刊が入りました

3月末、配本所に新刊が入りました。貸出冊数は5冊、貸出期間は2週間です。ぜひご利用ください！

【配本所とは？】
カレードスタッフが選んだ本を揃えた、公民館など野々市市内5つの施設にある図書コーナーです。各館に特色があるので、足を運んでみてください♪カレードにない本もありますよ！

- ①カミーノ
- ②押野公民館
- ③女性センター
- ④郷公民館
- ⑤富奥公民館(富奥防災コミュニティセンター内)

今月のおすすめ本 『海辺の石 小図鑑・見立て・石並べ』

著者：石の人 監修：川端清司 出版社：グラフィック社 分類ラベル：458.2/1

こちらは、海辺の石を木の板や白紙の上に並べ、風景や絵画に見立てている「石の人」さんの本です。石川県はその名の通り、川の石が有名ですが、石のある海岸はほとんど見かけません。私は鉱石蒐集が趣味なのですが、自分で石を拾い、撮影することはあまりないので、その活動はたいへん新鮮に感じられました。著者のSNSの写真に一目ぼれした私は、石拾いをすべく、富山の海岸に出かけました。名前のないようなつるつるした石が、波に濡れて光り、とてもきれいです。夢中になって石を見てると、同じく石拾いの方に声をかけられました。好きな石を見ていただけなのですが、その方から白いヒスイをいただきました。「いらなくなったら、この海に戻してくれたらいいから」と。珍しい石を頂いたことと同等に、その心遣いが嬉しかったです。

この本にも、「拾った海岸」に「いつかは石を戻す」と書かれています。「未来の地質学者がパニックになるかも」しれないので大切な配慮です。この本と出会って「石を拾うということ」を体験できた出来事でした。大人になってから、石を拾ったことはありますか？石拾いの世界、気になった方はぜひご一読ください。(スタッフT)

こちらの本は、カレードとカミーノに1冊ずつ所蔵しています。